

【会議録】令和6年度鳥取県中部圏域がん対策推進会議分科会

1 日 時

令和7年2月14日（金） 午後1時30分から午後2時45分まで

2 場 所

中部総合事務所1号館B棟2階 第202会議室

3 出席者 ※詳細は出席者名簿を参照

○委員：11名

○オブザーバー（中部管内4市町がん対策主管課）：7名

○事務局（中部総合事務所倉吉保健所）：8名

※傍聴者なし

4 概 要

○鳥取県中部圏域がん対策推進会議分科会運営要綱に基づいて開催。

・会議：成立（委員定員12名の過半数の出席）

⇒会長（議長）：西江委員、副会長：福羅委員

○今年度は第4次鳥取県がん対策推進計画（R6～R11）の始期に当たり、計画の全体目標の下に「がん予防」「がん医療」「がんとの共生」の3本柱を据えて総合的ながん対策を推進することとされていることから、本会においてもその認識の下、進行がなされた。

○その上で、中部圏域の「がん」を取り巻く現状と課題について保健所からの報告により共有するとともに、がん対策の保健所取組（案）について諮り、了承いただいた。

○その後、「がん予防」「がん医療・がんとの共生」の観点（※）から、各委員（所属）の取組等の情報共有や意見交換が行われた。 ※働き盛り世代のがん予防、がん患者・家族支援

5 詳 細

（1）開会挨拶（小倉倉吉保健所長）

今回の会議の目的は、「予防」「医療・共生」の観点から対策について協議・検討すること。
それぞれのお立場から忌憚のないご意見をお聞かせいただきたい。

（2）会長挨拶（西江委員）

冒頭、小倉保健所長からありましたとおり、「予防」「医療・共生」について協議・検討していく
たいと思いますので、よろしくお願いします。

（3）報告・提案（倉吉保健所）

ア 報告 … 資料1・2（参考資料2～6・8、保健所追加資料）

①：統計データ等から、働き盛り世代の予防の取組が重要である

②：治療と仕事を両立する患者の増加等から、医療・共生の取組が益々重要になる

イ 提案 … 資料1（参考資料7）

①：地域職域連携を推進する観点から、企業で働く従業員の5がん検診受診状況（鳥取県がん検診推進パートナー企業認定事業）を市町にも情報提供する新たな試みについて

＜現在の情報共有範囲と流れ＞企業→保健所→県庁 ※範囲等は事業実施要綱（§6）で規定

＜新たな情報共有範囲と流れ＞企業→保健所→県庁

→ 市町 ※企業の同意が得られた場合にのみ提供を実施

市町での活用（想定）：地域全体の健康課題の把握、保健事業の共同実施等

なお、市町へ提供するには、要綱改正（所管：県庁健康政策課）が必要。

本会議で了承（賛同）された場合、県庁に対して要綱改正を働きかける予定。

【宮本委員】賛同する。働き盛り世代の健康意識を高めるためにも情報連携は良い。

【谷本委員】賛同する。自治体とも連携した受診しやすい体制づくりが必要。

【その他の委員】異論なし。

⇒今後、保健所から県庁に、要綱改正を働きかける

②：その他、「予防」「医療・共生」に係る保健所の今後の取組（案）について

【全委員】異論なし。

⇒今後、保健所は、取組（案）に基づいて事業を実施する

(4) 情報共有・意見交換（各委員） …[資料3]

ア 予防 ※資料記載内容以外の主な発言は以下のとおり

【福羅委員】がん検診の受診率向上、子宮頸がん予防（HPV）ワクチン接種の推進が重要。

【稻嶋委員】住民対象の健康講座を行っているが、若い人の参加が少なく、また参加者の固定化などの課題もあり、対策について市健康推進課でも検討されている。

【鈴木委員】協議会としても食を通じてがん予防に取り組んでいる。まず推進員自ら検診を受けることも大切。

【山根委員】保健所のがん検診普及啓発用チラシを会員事業所に配布した。更なる周知が必要と考えており、会議所のメルマガの活用やHPへの情報掲載など協力が可能。

【福本委員】湯梨浜町地域・職域連携推進会議の取組に参画している。

【宮本委員】健診再検査・精検対象者への受診勧奨、前立腺・子宮・乳がん検診費用や節目人間ドック費用の全額負担などに取り組んでいるが、若い社員の受診率向上が課題。

【深田委員】衛生推進者等を対象とした教育・研修会を実施し、安全配慮義務の履行において健診の実施とその結果を踏まえた適切な事後措置の重要性を伝えている。

【谷本委員】仕事の都合もあって生活習慣病予防健診の受診をすすめににくいという声をいただくこともある（胃透視等が業務に差し支える等）。生活習慣病予防健診が受けられる機関を増やしていきたい。再来年度から人間ドックへの費用補助を開始するなど健診体制の見直しを全国で予定している。

【長谷川委員】クリニックの胃カメラ受診日数を月2から週1に増やした。女性医師・技師の配置に努めている。

【琴浦町】（町の健康経営モデル事業の紹介 …[町追加資料]）商工会とも連携しながら、健康経営に取り組む事業所を増やしていきたい（町事業の活用促進）。

イ 医療・共生

【藤吉委員】厚生病院のがん相談支援センターとすずかけサロンの存在・支援のおかげで今がある。もっと多くの方にセンター等が利用されることを願う。

【西江委員】当院でも女性医師・技師が増え、がん検診等に対応している。現在の高額療養費制度の見直し論について、治療を諦める患者等が増えないか危惧している。検診休暇制度の創設など職域分野での制度充実に期待。

(5) 閉会挨拶（小倉倉吉保健所長）

今回、資料に書かれていること以外も含めて具体的な取組が共有できた。

二人に一人が、がんにかかる時代。藤吉委員のご発言からも、がん対策の重要性を益々訴えていかないといけないと強く感じた。